

コンプライアンス方針

私たち、株式会社ケアビジネスコンサルティング並びにそれぞれの役員及び従業員は、社是の精神のもと、次の通りコンプライアンス方針を定め、これを遵守します。

- ・高い倫理観をもって、それぞれの企業活動を行う国や地域の、法令及び公正な社会ルール並びにその精神を尊重し、誠実に行動します。
- ・優れた技術・製品を創出し、お客様の満足と信頼を得て、豊かな社会の実現に貢献します。
- ・個人の人格と人権を尊重し、安全で、風通しのよい、働きやすい職場づくりに努めます。
- ・事業に関する情報開示を積極的に行い、企業としての透明性を高めます。
- ・より良い地球環境を実現するための活動を自主的、積極的に行います。
- ・良き企業市民として、お客様、株主・投資家、取引先、行政、地域、社会などステークホルダーとの共栄を図ります。

私たちは、上記の企業倫理に基づき行動指針を定め、日々の事業活動や業務の拠り所とします。

行動指針

1、社会との関係

法・社会規範の遵守	私たちは、定められた法令だけでなくその背景に存在する倫理的・道徳的精神を守り、また将来の法規範も見越して企業倫理規範に基づき行動していきます。
反社会的勢力との関係	私たちは、反社会的な活動や勢力には毅然として対応し、一切関係を持ちません。また、私たちは、反社会的勢力などから不当な要求を受けた場合、毅然とした態度で臨み、金銭等による解決を図りません。
環境保全・保護	私たちは、生産活動や製品が地球環境に与える影響を真摯に受け止め、環境負荷の軽減に努力を重ね、経営効率との接点を追求していきます。 環境関連の法令の遵守にとどまらず、汚染の防止と環境保全の管理レベルの向上に努めます。
安全保障貿易管理	私たちは、国際的な平和及び安全の維持を目的として、国際的な合意の下に定められた輸出入関連法令に反する行為を行わないだけでなく、取引先等を通じて間接的にも不正に輸出がなされないことを確認します。

2、顧客・取引先・競争会社との関係

製品の安全性	私たちは、製品の設計・開発、製造、販売、補修・修理等のあらゆるプロセスにおいて、製品の安全に関する法令および安全基準を遵守するとともに、その安全性および品質、利便性をより向上するための技術開発を行い、取引先の満足を得られる製品を提供します。
独占禁止法の遵守	私たちは、国内、諸外国及び地域に適用される独占の禁止、公正な競争、及び公正な取引に関する法令及び規則を遵守し、フェアな事業活動を行います。
取引先との適正取引	私たちは、複数の業者の中から取引先を選定する場合には、経営全般、決算状況、品質管理能力、コスト対応力、納期管理能力、技術力、環境対応力などの諸条件を公平に比較、評価し、最適な取引先を決定します。取引を継続する場合も同様です。私たちは、購入取引において優越的地位を濫用することなく、公正な取引を行います。
第三者の機密情報	私たちは、第三者の所有する営業秘密その他の機密情報を不正に取得、利用しません。また、取引先から正当に営業秘密その他の機密情報を取得した場合には、漏洩等を防止すべく、適切に管理します。
個人情報の保護	私たちは、顧客・社員などの個人情報(特定の個人を識別できる情報)を適切に取り扱い、権利・権益を保護することを重要な責務であると考え、「個人情報保護方針」に基づき、その収集・保管・利用などにおいて管理を徹底します。
接待・贈答	私たちは、取引先に対する接待、贈答、慶弔・災害見舞等の社会的儀礼については、社会通念上常識の範囲・方法で節度をもって行います。

3、株主・投資家との関係

経営情報の開示	私たちは、株主・投資家などはもとより、広く社会とのコミュニケーションを行い、財務内容や事業活動状況等の経営情報を適時に適切な方法で開示し、経営を公正で透明性のあるものに保ちます。
インサイダー取引	私たちは、自社や他社の内部情報(法令に規定される、投資家の投資判断に著しい影響を与える未公開情報)を利用して、株式等の売買(持株処分も含む)を行いません。またそのような内部情報を知人や家族などにも知らせません。

4、社員との関係

人権尊重・差別・ハラスメント行為	私たちは、あらゆる企業活動において、基本的人権の尊重を常に意識して行動し、差別につながる行為は一切行いません。また、性的な言動や職権を盾にした言動など、セクシュアルハラスメント・パワーハラスメントを行わないとともに、このような行為に対しても断固とした態度で対応します。
職場の安全衛生	私たちは、安全で衛生的な職場環境の整備に努め、業務上の安全・衛生に関する法令等を

	理解し、遵守します。万一、事故、業務上の災害が発生した場合は、迅速かつ適切に対応するとともに、再発防止に全力を尽くします。
労働関係法の遵守	私たちは、労働に関係する法令を遵守し、健康で働きやすい職場環境の維持に努めます。過度な労働、残業等にならないように、管理者は、部下の勤務状況、心身の健康状態に常に留意し、社員も自己管理を心がけます。

5、会社・会社財産との関係

社会の一員としての自覚を持った行動	私たちは、社会の一員であることを認識し、高い倫理観を保持し、社会における責任を自覚し行動します。
適正な会計処理	私たちは、関係法令に基づく適正な会計処理基準や社内ルールを遵守し、公正な経理・会計処理を行い、関係する税法に従い納税します。
企業秘密の管理	私たちは、職務上知りえた知見や社内の他部門から知り得た情報、その他の自社の技術または営業の秘密に関する事項については適切に管理し、会社に無断で、あるいは不用意に、社外に公表、開示あるいは漏洩しません。
会社資産の適切な使用	私たちは、会社の有形・無形の資産(情報ネットワークを含む)を大切に保護し、有効に活用するため、適切な管理を行います。
知的財産権の尊重	私たちは、他者の知的財産権を侵害しないように努めます。また、知的財産権は重要な会社資産であることを認識し、知的財産権を創造、保護し、有効活用を図ります。
政治・宗教活動	私たちは、会社の許可なく会社施設を利用して、政治活動、思想活動、宗教の布教活動、あるいは個人や特定の団体の利益を図るような勧誘活動を行いません。

コンプライアンス 行動規範

(コンプライアンス宣言)

第1条 取締役、監査役、業務執行役員、従業員その他会社の業務に従事する者（臨時従業員を含む。以下「役職員」という。）は、業務を遂行するにあたり、法令を遵守し、社会から信頼される企業となることを目的とし、また個人として行動するうえで、この行動規範を遵守することを宣言する。

(行動規範遵守)

第2条 役職員は、日々の行動において法令、社内規程などのルールを遵守することはもちろんのこと、法令などに抵触しない場合でも、会社が「よき企業市民」として評価されるよう、社会的良識をもって行動しなければならない。

(地域社会に対する行動規範)

第3条 役職員などは、地域社会との協調を図り、その発展に貢献するように努めなければならない。

2 役職員などは、「○○環境方針」に則り、環境問題に配慮して行動するよう努めなければならない。

(国際的企業としての行動規範)

第4条 役職員などは、国際社会における規範に則った行動に努めなければならない。

2 役職員などは、海外の文化、法律、慣習などを尊重し、地域の発展に貢献するよう努めなければならない。

(発注者などに対する行動規範)

第5条 役職員などは、顧客満足を原点に、よいものを、安く、早く顧客に提供することを目的に行動しなければならない。

2 役職員などは、発注者あるいは発注者の役職員個人に対して、不正な金品の供与あるいはその約束などを行ってはならない。

(政治家・公務員に対する行動規範)

第6条 役職員などは、「政治家との係わりおよび経費の支出に関する行動規範」を遵守しなければならない。

2 役職員などは、政治家、公務員との関係において、贈収賄刑罰法規に違反する行為を行わないことはもちろん、誤解を受けるような行為は行ってはならない。

(競争会社に関する行動規範)

第7条 役職員などは、公正、透明、自由な競争を旨として行動しなければならない。

2 役職員などは、入札談合など刑法、独占禁止法などの刑罰法規違反を犯すことのないよう、「独占禁止法遵守のための行動規範」に従って、責任ある行動をとらなければならない。

3 役職員などは、競争会社に関する情報につき、不正な手段を用いて入手してはならない。

(取引業者に関する行動規範)

第8条 役職員などは、専門工事業者など取引業者との取引に際しては、公平に取り扱うものとし、会社の優越的な地位を濫用して不利益を与えるようなことをしてはならない。また、建設業者との取引に際しては、下請代金の支払いその他に関し、建設業法などに違反する行為を行ってはならない。

2 役職員などは、専門工事業者など取引業者との取引に際しては、よりよいものを、経済合理性に基づき選択するものとする。

3 役職員などは、専門工事業者など取引業者から接待、贈答などを受けてはならない。

(日常業務における行動規範)

第9条 役職員などは、法令および「工事安全衛生管理規程」などの社内規程に基づき、役職員などおよび専門工事業者などの安全衛生の確保に努めなければならない。

2 役職員などは、営業秘密、社内用文書について厳重に管理しなければならない。

3 役職員などは、株式などに関する内部者取引につき、証券取引法を遵守し、責任ある行動をとらなければならない。

4 役職員などは、会社と競合するほかの企業の役員、従業員となること、当社の事業と競合する行為、業務上の地位を利用して第三者から個人的に利益を受けるなど、自己の利益と会社の利益が相反するような行為を行ってはならない。

5 役職員などは、会社が保有する知的財産権（特許、著作権、ノウハウなど）につき、その権利の保全に努めるものとする。また、役職員などは、他者の知的財産権を侵害してはならず、他者の知的財産権を取得、利用する場合は、その使用許諾契約条件を遵守しなければならない。

6 役職員などは、外国為替および外国貿易法など輸出入関連法規に違反する行為を行ってはならない。

7 役職員などは、会社の財産を私的、不正または不当な目的に利用してはならない。

8 役職員などは、会社会計につき、不明朗、不透明な処理を行ってはならない。

(その他社会人としての行動規範)

第 10 条 役職員などは、社内においても、社外においても、性別、国籍、人種、門地、宗教、身体上の理由などによる差別を行ってはならない。

2 役職員などは、健全な職場環境を保持するため、セクシャルハラスメントを行ってはならない。

3 役職員などは、業務上得た社内外の個人に関する情報について、業務目的以外に使用してはならず、また漏えいしてはならない。

(倫理委員会)

第 11 条 取締役会に「倫理委員会」を設置し、本規範に関する方針の決定、教育の実施、遵守状況の監視、役員などの行動の適否を行う機関とする。

2 役職員などは、本規範に違反するかどうか疑義がある場合は、直属上級職位を通じ、または直接に倫理委員会に照会し、その判断を求めるものとする。

(教育・指導)

第 12 条 各職位は、自ら本規範を遵守するとともに、所属従業員が本規範を遵守するように、適切な教育を行い、また指導監督する責任を負う。

(監査・報告)

第 13 条 監査部長は、本規範の遵守状況につき監査し、監査結果を倫理委員会に報告する。

(違反についての処置)

第 14 条 役職員などが本規範に違反した場合は、取締役会または人事委員会において事実関係を慎重かつ厳正に審査のうえ、社内規程に則って懲戒する。

(改廃)

第 15 条 本規範の改廃は、取締役会の決議による。

付 則

1 本規程は、令和 8 年 1 月 1 6 日から実施する。

2 関連事業部長は、関係会社に対し、本規程の趣旨に従い行動するよう指導するとともに、各関係会社に本規程に準じた行動規範を制定するよう指導するものとする。

株式会社ケアビジネスコンサルティング

コンプライアンス 基本方針

当社の、経営理念を基に制定された経営ビジョンを骨子とし、企業が法令を遵守し、社会的および環境的な活動を重視しながら公平・公正な事業を展開し、利害関係者との相互作用により積極的な社会貢献を行っていくことを基本方針とします。

<経営ビジョン>

- ◎社内全体の調和と協力
- ◎最新の技術力での、電気工事の設計、施工、監督
- ◎誠実に、責任をもって、真摯な態度で
- ◎従業員とその家族を幸せに
- ◎環境、人々、地域への貢献

「活動」

- 1) コーポレートガバナンス
CSR 推進体制を構築し、統治された企業風土を作成します
事業継承改革を策定します
企業の方針や目標を明文化し、情報発信し、説明責任を果たします
内部通報制度を構築し法令順守の徹底を図ります
- 2) 人権の尊重
国際的な人権を擁護し差別をなくします
定期的に、すべての人権や差別に関する情報発信を行い周知します
労働者の意見を積極的に取り入れ情報公開していきます（提案制度）
- 3) 安全で働きやすい職場環境
安全衛生方針を基本に安全活動を徹底して行います
安全衛生関係法令を遵守し、利害関係者も含めた全ての人々の安全・安心を提供し、快適な職場環境を維持します
- 4) 環境保全の推進
地球環境にやさしい事業活動に専念します
資源の効果的な利用促進のため、年間使用量を調査検討し削減に努めます
廃棄物の廃棄は、専門業者に依頼することによりリサイクルし、その削減に努めます
- 5) 公正な企業活動
公正・誠実な企業活動を徹底し、利害関係者とは対等で信頼される取引を行います
- 6) 商品サービスの安全性と品質
ISO9001 2015 のシステムを最大限に生かし安全と品質の確保に努めます
- 7) 機密情報の適切な管理
情報セキュリティに関する手順を定め実行します
個人情報の管理や機密情報の漏洩に対して適切に保護管理する
- 8) サプライチェーン
全取引の透明性・環境への配慮・人権の尊重を考慮できる CSR 調達について周知し、実践していきます
- 9) 社会貢献の推進
経営理念の実勢により、地域への貢献を積極的に行います
当社のSDGs宣言により社会の課題の解消に取り組みます